

令和 5 年度

第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会・会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和 5 年 8 月 9 日（水）午前 10 時～11 時 25 分
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 懇話会委員：10 名、事務局：7 名
- 4 議 題 (1) 会長及び副会長の選出について
(2) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
(3) その他
- 5 開 会 (事務局が開会を宣言)
懇話会委員、事務局職員自己紹介
「子ども読書のまち宣言」唱和（先導は図書館長）
館長挨拶
- 6 会 議 (要旨)
(事務局) 事務局より議題 (1) について説明。その後会長を互選により選出。副会長は会長の選任にて選出。選出委員は会長席・副会長席に移動。会長・副会長は就任挨拶。その後、会長が議長になり議事進行。
(事務局) 議題 (2) について、推進計画の進捗状況及び目標値、取り組み状況を説明。
(委 員) 除籍図書の配布の話で、受け取りを辞退する施設があるという説明がありました。勤め先の児童クラブは、本はたくさんあるのですが、たくさんの子が読むので、本がボロボロになっていて、そんな状態でずっと同じ本があり、もう全部読んでしまったという子もいるので、除籍図書を辞退するのは凄くもったいないことだと感じました。クラブ長に提言してみたいと思いました。
(会 長) 孫が保育園に行っていて、本を借りてくると、「除籍図書」というシールが貼ってあったりします。こうやって活用されているのだと思ってうれしく思います。
(事務局) 今年度も、現在除籍本を整理している状況で、9 月になりましたら各施設へ配布する予定にしております。コロナ禍になってから中止しておりましたが、市民から不要になった絵本を寄贈していただき、それを保育園や児童館に配布する事業を今年度は復活させました。8 月の一か月間、募集をしておりました、それも除籍本と合わせて配布する予定です。
(委 員) 除籍本の配布率の関係ですが、平成 30 年度から年々下がってきています。目標値としてまた 100%という取り組みをされるわけですが、その 100%まで持っていくまでの解決の手段とか、何かそういったものは図書館の方で考えていますか。
(事務局) 100%は実現不可能に近い数字だとは思っていますが、保育園について、今まで公立の保育園と私立の保育園だけを対象にしていたところ、今年度は認定こども園、地域型保育事業所、それから私立幼稚園にも配布の案内を初めて出しました。辞退される所もありましたが、受け取りを希望された施設もありましたので、保育園と私立の幼稚園については、少し今までと変えてみたところではあります。
(委 員) 先ほどウェブサイトによる啓発活動という説明がありましたが、ボランティアグループの総会の時に、自分たちのグループの活動の状況だとか、例えば会員を募集しているというような情報が検索できるようにできないかという声がありました。

- (事務局) 現状は、図書館ウェブサイトボランティアグループの紹介をするところがあり、団体名をクリックすると、活動内容やおはなし会の様子の写真などが載っています。ただ先ほど言われたような検索となると、検索するシステムを組み込んだりしないといけないので、難しいかと思います。
- (委員) 要望があるグループは活動の写真とか、イベントをやるといった情報などを載せてほしい。
- (事務局) 自分たちでブログをやっていたりすれば、図書館のウェブサイトでリンクをかけることは可能だと思います。
- (事務局) 図書館としてもご相談いただければ、お力になれるようにしたいと思いますので、よろしくお願いします。
- (委員) よむりんサポーターズでは、ずっと以前から生涯学習バスでいろんな図書館に行ってみ学をしていたのですが、これが廃止になってしまいました。私たちは年に一回だけでも他所の図書館に行っているいろんな事を勉強してくるということが楽しみだったので、もう今年はバスがないなら近場の図書館でということで、江南市立図書館にしました。今すぐでなくてもいいのですが、過去に使えていた物が使えるように、何とか骨折りしていただけないかなと。
- (事務局) すみません、ご要望としてはお伺いしておきますが、非常に難しいかと思います。本当に公民館活動限定という形になってしまったので、とりあえずはご理解いただくよう、よろしくお願いします。
- (委員) 福祉バスというのはまだありますか。生涯学習バスはなくなったけど、福祉バスはまだありますか。
- (事務局) ありますが、あのバスは福祉目的ということで、目的が限定されていると聞いております。福祉団体とか。
- (委員) やはり新しい図書館や他の活動をしているところで話を聞くという事は、非常に皆さんの為にもなる事なので、是非そういった見学会、研修会も、復活させていただきたいなと思っております。
- (委員) おはなし会に参加してくれる子どもたちですが、このコロナ以前よりも年齢がちょっと下がっているような事が感じられて、それまでは小学校低学年から4年生くらいまでの子は、結構来てくれていたのですが、コロナ禍を経て今また再開していますけれど、小学生の子の割合がとて減ってしまって、年齢層が2、3歳下がったような気がしていて、グループメンバーといつもどうしてだろうねと話しています。たまたまという事ではないと思うのですが、他の図書館のおはなし会でも年齢層はやはり低下していますでしょうか。
- (委員) 木曾川図書館もやはり下がっていると思います。原因の一つとして、私たちが考えているのは、ブックスタートがあくまでお渡しするだけになったことです。今はボランティアはなしで、図書館の職員と主任児童委員さんでやっているのですが、聞いたところによるとほとんどお渡しをするだけだと。やはり小さい時に、そうやって絵本をもらうまでは良いのですが、もらってそのプラスアルファの情報が少ないので、まずは図書館に来ない年代ができていて、その年代がだんだん上がっていくにしたがって、要は空白の2年とか3年があるのではないかという話をしています。いっぱい絵本を読み聞かせをしたい時にしていない方たちが、今来ていないのではないかという話をしています。本当かどうかわかりません。ただ、

そういう意見もあります。

- (委員) 読み聞かせで、どの絵本にするって聞いた時に、ある子がこの本は保育園の先生が読んでくれたと言っていたので、やはり繋がっているのだなという気がしました。学校と地域と図書館と、保育園、児童館とか全て、子どもの本を通じて繋がっているなというのを実感します。図書館の受け皿はやっぱりすごいと思うのですが、土日いつ行ってもおはなし会がやっているとか、そういうのが10年とかの積み重ねでだんだん定着してきているのだと、すごくうれしく思います。
- (委員) 読み聞かせに参加しに行こうと思うお母さんはいいのですが、なかなか忙しいお母さんが多くて、児童館に来ているお子さんは多分読み聞かせとかあまりしてもらっていない子もいるのではないかと思います。児童クラブでは夏休みも図書館で紙芝居などを沢山お借りしています。高学年でも紙芝居をととても楽しみにしてくれているので、読み聞かせは大事だなと感じています。
- (事務局) 先ほどはブックスタートの形態が変わって、それが影響しているのではという話がありましたが、ちょっと私見ですが、コロナの影響がやはり大きかったのかなと。学校も休校になり、図書館も休みになってしまって、何か月も、ちょうどその頃に読み聞かせの体験をし始めて、体が読み聞かせの体験を覚えるという年頃の子どもが、そういった体験が身に付かずに、今足が遠のいているのではないかという感じもします。
- (委員) 今小さい時から保育園に預けられる方が多いものですから、お母さんたち自身も家庭での時間の余裕というのが失われていて、保育園としては子どもたちが家庭にいるよりも保育園にいる時間の方がとにかく長いものですから、保育園での絵本を通しての触れ合いというのを子どもに味わわせなきゃいけないという事でやっていると思います。だから保育園、学校といった、そういう繋がりができているのですが、家庭を巻き込むというのが、なかなか難しいというのを感じます。やはり見ていると、本を借りていくお母さんは同じ人ばかりです。だからお母さん自身が本に興味を持ったり、子どもには読み聞かせが大事なんだよというのが分かっていたらいいのですが、その難しさというのは、現場は感じていると思います。
- (会長) よむりん読書通帳の活用についてお聞かせいただきたいです。
- (事務局) 数字を見る限りは漸減状態という感じですが。激減というところまでは行ってないと思いますが、またいろいろPRをしながら、子どもを始めとして皆さんに活用していただくような感じにしていきたいとは思っています。
- (委員) 例えばハンコを押すだけじゃなくて何かもう一つプラスアルファできないですか。できるだけお金をかけずに、何か図書館をアピールしつつ、少しプラスアルファで、次のもう一冊頑張ろうとか思えるようなものがあるといいのですが。
- (事務局) ご意見として、ありがとうございます。
- (委員) いわゆる紙の本ですと、除籍ということがあるのですが、電子書籍でも除籍というのはありますか。
- (事務局) 電子書籍は、除籍はないです。ただし期限付きのもの、例えば2年間とか、50回借りたら、もう見るができなくなるという電子書籍はあります。
- (委員) 貸出カードは市内の子どもは皆、持っていますよね。パソコン、タブレット、スマートフォン、こういったものに今の子どもたちは、慣れている割には電子書籍

の貸出数が少ないのかなど。学校ではどうですか。タブレットで電子書籍を見るというようなことは。

(委 員) まだ、ないです。ただ教科書が、今もうそういう風になっています。QR コードがあって、そこから資料を見たりとか。だからいずれ半々になるというか、いずれ移ると思うし、紙がなくなるとは思わないですけど、もうタブレットなしでは授業も難しくなってきました。だから上手にどうやって使っていかうかなというのが現場の状況です。

(委 員) 学校の読書タイムの時間にタブレットで読書、電子書籍を読むということは。

(委 員) まだやってないです。

(委 員) 図書館の見学はすごく良いなと思っていて、コロナの頃はオンラインでしたが、絶対あれはオンラインじゃない方が良いなと思って、やっぱり現地を、博物館でも何でもそうですが、あれはやはり行く事に意味があると思うので、バーチャルだったら別に本を読んでいても変わらないので。

(会 長) 本を手にとったり、実際に図書館に来て本が並んでいるのを見る、やはりそういう感動みたいなものを味わってほしいと思いますよね。

(事務局) 図書館見学の件ですが、今年度は5月にコロナが5類移行しまして、通常通り来館での見学を実施するという事で、すでに何校か申込みいただいています。オンラインの方も続けておりまして、今年度は両方でやっていますので、よろしくをお願いします。

(会 長) いろいろと意見をいただきましたがよろしかったでしょうか。ではご意見も出尽くしたということで議題2はここで閉じさせていただきます、次の議題3について事務局からお願いします。

(事務局) 次回の懇話会の予定ですが、10月頃を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡いたしますので、よろしくをお願いします。

(会 長) それでは本日予定しておりました議題はすべて終了いたしました。これをもって本日の会議は終了させていただきます。